



自己紹介

1973年生まれ 50歳
兵庫県宝塚市出身
甲南大学経営学部卒



東邦レオ株式会社入社 (1996年)
都市緑化事業、戸建リノベーション事業に従事

damaya company株式会社を設立 (2013年)
不動産賃貸事業 「つくる賃貸」を提唱
φ100mのまちづくり「inno town」のプロデュース
空家活用コンサルティング事業 「コトノハコ」「まちかど農園～posto～」

株式会社シーナタウンを設立 (2015年)
空家をリノベーションしたゲストハウス「シーナと一平」を運営
古民家レストラン「アホウドリ」の運営
Brewery & Gallery「西池袋マート」のプロデュース

あさかエアデザイン会議の設立 (2022年)
ASAKA STREET TERRACEを実施
ASAKA MEETINGの運営 等





「まちづくり」とは何か？

何もないところに、住まいや社会インフラの整備を行う

今ある身近な居住環境を改善し、地域の魅力や活力を高めていく活動



日常が楽しい、住んでよかった、自分の町を誇りに思う＝シビックプライド

「まちづくり」のポイント

今ある身近な居住環境を改善し、地域の魅力や活力を高めていく活動

- ・ 地域（エリア）を特定する
- ・ その地域にある資源を再発見する（人、施設、建物、歴史）
- ・ その資源を最大限活用する
- ・ 官と民が連携する

「あさかエリアデザイン会議」とは

朝霞の

「エリアプラットフォーム」

です

エリアプラットフォームって何だろう？

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場が、エリアプラットフォームです。

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



出所：まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム（国土交通省）

「あさかエリアデザイン会議」設立のきっかけ

国土交通省が創設した補助事業「官民連携まちなか再生推進事業」（令和2年創設）



令和3年に応募、採択 → エリアプラットフォーム構築会議スタート

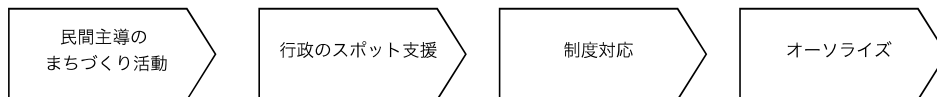


令和4年4月「あさかエリアデザイン会議」設立 → 2年間の助成スタート

官民連携のパターン

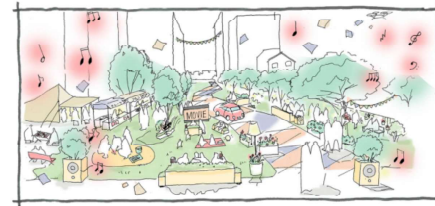
①助成制度・仕組み構築 → 官から民へ呼びかけ

②民間主導のまちづくり活動 → 民の活動を官が支援する



「あさかエリアデザイン会議」の活動目的

朝霞駅周辺地区において、官と民が一体となり、ウォーカブルなまちまかの推進やにぎわい創出といったまちなかの魅力向上に関する事項を協議し、未来ビジョンの策定及びそれを実現する事業等の実施を通じて、当該地区の活性化と発展寄与することを目的とする



朝霞駅西口富士見通線 未来イメージ

めざせ！ ウォーカブルな まちづくり

世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から“人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使用して、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく取組が進められています。これらの取組は都市に活力を生み出し、持続可能かつ高い国際競争力の実現につながっています。

近年、国内でも、このような街路空間の再構築・利活用の先進的な取組が見られるようになりました。しかし、多くの自治体では、将来ビジョンの推し進め方や具体的な進め方など、どう動き出せば良いのか模索しているのが現状です。

このような背景のもと、国土交通省では街路空間の再構築・利活用に関する様々な取組を推進しております。

出所：ウォーカブルポータルサイト（国土交通省）

出会いがありました



コトノハコ 2017年開設



滝澤いと
地域の作家さんの集いを企画
イベントなど実施してた



木本孝広
個人所有の不動産コンサルを事業
自分が住んでる朝霞でも何かやってみたい

↓
地域の作家やクリエイターが集まり出した

↓
朝霞には知らなかったけど、面白い人がたくさんいるんだ

ASAKA MEETING

ASAKA MEETINGは、わが町朝霞市や近隣の活動家を知り、繋がる場として企画されたトークライブです。



- ①参加者全員の自己紹介
- ②ゲストスピーカーのスピーチ
- ③ゲストとホストのディスカッション
- ④質疑応答
- ⑤参加者全員でフリートーク

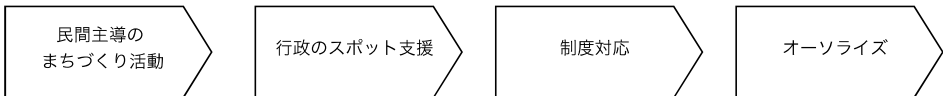


これまでのあゆみ

- 2019年 5月 第1回ASAKA MEETING
- 2020年 2月 シンボルロードオープニング
- 2020年10月 第1回ASAKA STREET TERRACE
- 2020年12月 シンボルロードイルミネーション「冬のあかりテラス」開催
- 2020年 「官民連携まちなか再生推進事業」募集→採択
- 2021年 4月 エリアプラットフォーム構築会議を開始
- 2021年11月 第2回ASAKA STREET TERRACE
- 2022年 4月 官民連携組織「あさかエリアデザイン会議」設立
- 2022年 7月 エリアの将来像を描いた「エリアビジョン（ベータ版）」公表
- 2022年11月 第3回ASAKA STREET TERRACE

あさかエリアデザイン会議の取組

エリアビジョン（ベータ版）も完成し、それを実現する事業の実施が始まっている



目指す将来像の実現に向けた取り組み

市民意見募集や、ASAKA STREET TERRACEで行ったアンケートなどを元に、将来像に向けた施策を作成。
今後も継続的に、市民意見募集、市民ワークショップの開催など、より多くの意見を盛り込んだ取り組みへと発展させる。

- 

市民意見募集・商店主・テナント・アーティストと連携
- 以前実施したアサカストリートテラスのようなイベントを月一回実施。全体の実施が難しい場合、半年に一回は歩行者実証を行う。
- 押し付けがましいチラシを配布し毎日3枚5枚1ヶ月替わり並べる
- 祭り、イベントを定期的に行う。

➤ ①【ASAKA STREET TERRACE プロジェクト】
- 駅や市役所に置く紙のパンフレットマップを作成するとともに、スマホでも確認できるようデジタルマップで表示されるようにする。
- 押し付けがましい商店地図をつくり駅や市役所、SNSで配布する。

➤ ②【あさかのつかいかたガイドブック作成運用プロジェクト】
- 大きな壁やビルにストリートアートを描きスポットにする。
- 音楽の街頭演奏ということで、アーティストやミュージシャンをプロモートしていく環境があると面白い。

➤ ③【あさかのアート・ミュージックプロジェクト】
- ほぼたんをイメージした可愛いデザートやパンを各店舗作成し、売り出す。
- 朝霧住宅地の自衛隊とのコラボ企画で、自衛隊グッズ、ミッドジャーモの(菓屋や菓店)の販売

➤ ④【あさかのグッズ作成プロジェクト】
- いつ行ってもどこかの店で何かやっている商店街。楽しい商店街。
- 食べ歩きスタンプカードや、サービス券、ポイントカードをつくる。【ほぼ(ほぼたん)インカード】など。

➤ ⑤【商店街にざわいプロジェクト】
- 駅前にはシャッターがしまっているお店が多いが、空き店舗情報を朝霧のホームページやTwitterなどで知らせるなどしよう。
- シャッター店舗を借り上げて、食事どころ、ユニークな買い物、アート、交流場所などに充てる。高齢者、子供連れ、若者の集まるエリア。

➤ ⑥【店舗リノベーションプロジェクト】
- ベンチだけでなく、テーブルがあるとか、食事したり、将棋、チェスなどボードゲームができて、ベンチがベンチでできるような。
- 小さな子供がいても飲食できる設備(オムレツ機など)やベンチ、ちょっとした公園があると良い

➤ ⑦【ストリートファニチャー設置プロジェクト】
- 駅前通りは狭い歩道幅しかない、その上、停車車両が歩道を占めているなどして歩きにくい状態。車の印象を減らす。人がすれ違える広い歩道を整備するか、一方通行にして車を減らすなどして歩行者の安全を確保してほしい。
- 駅前通りを歩行者と自転車の専用道路にする

➤ ⑧【人中心のみちづくりプロジェクト】

検討施策【ASAKA STREET TERRACE プロジェクト】

実施エリア：朝霧駅前広場の広場・朝霧駅前広場の通り・駅西口富士見通線・市役所前広場(花の池テラス)・市道1000号線・シンボルロード

「あさかの『日常』をあるこう」をコンセプトに、人中心の、未来のストリートを思い描きながら様々な企画や店舗営業でまちなかを盛り上げる。
日常的に開催される「小さなSTREET TERRACE」で常に魅力を発信し、年に一度の大規模開催では朝霧市内外の人々に賑わうイベントへと発展する。



2021年 ASAKA STREET TERRACEの様子



150の出店者

ミュージシャン、ダンスチーム、DJパフォーマンス、チョークアートなど

空間デザインのこだわり



検討施策【あさかのアート・ミュージックプロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り・シンボルロード

アイコンとなるイラストやアートをまち全体に展開し、人々の目にとまることで、エリアプラットフォームを周知させる。まち全体を彩り、日常はもちろん、イベント等でも様々な活用が期待できる。



様々なポーズの展開で、空間に合わせた活用方法が可能



朝霞市制施行 50 周年の平成 29 年 3 月 15 日に誕生した「ぼぼたん」
緑豊かな自然豊かな荒川沿いに暮らす人びとから生まれ、まちの魅力を世界中に届ける。
ぼぼたんをアイコンとし、まちなかをアートやイラストで彩る。

事例（まちなかでのアート展開）



風景に溶け込むアートを展開し、生活の一部に取り込む。



市民参加の音楽フェスやイベントでの演奏など、まちなかの様々な場所で音楽が奏でられる。

検討施策【あさかのつかいかたガイドブック作成運用プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・シンボルロード・基地跡地周辺

あさか市民に向けた、あさかにある公共空間や遊休不動産、その他活用可能な場所や空間をどの様にしたら使えるのか、事例と共に紹介する。



利用するときの条件や申請方法、申込窓口や禁止事項、法的な事も含めた一冊を市民の誰もが分かりやすい表現にした冊子。

ガイドブックイメージ



検討施策【あさかのグッズ作成プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り・朝霞西口・土井橋通り・市役所前広場・市道1000号線・シンボルロード

日常生活に溶け込む様々なアイテムを展開し、人々が活動することで幅広く魅力をアピールする。



ぼぼたんのグッズ展開。
文具をメインに人々の生活に寄り添う。

上：彩夏祭シンボルキャラクター「彩夏ちゃん」
下：朝霞市社会福祉協議会マスコットキャラクター「アージュちゃん」

イベントのグッズ展開。
イベント機だけの特別版を作る。

グッズ展開案



検討施策【商店街にぎわいプロジェクト】

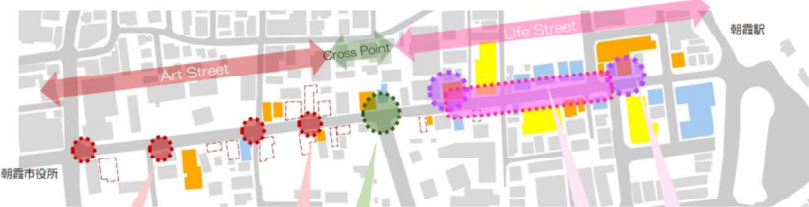
実施エリア：朝霞駅南口駅前通りなど

駅側の飲食店やスーパー等、生活に密着する「LivingStreet」

空き店舗等を有効活用する「ArtStreet」

中間地点で、駅西口富士見通線との結節点の「CrossPoint」

エリアごとの特色を活かし、店舗のにぎわいを適度にじみ出させ、人々の流れを商店街の奥まで呼び込む



通りを彩る様々な花。季節ごとに道に風景を楽しめます。 Flower Spot

店舗前を利用したギャラリー。朝霞駅のアートと融合します。 Art Spot

人々が集まる賑わい緑地空間。2つのエリアをつなぎ、人々の輪を広げます。 Engawa Park

飲食店の店舗前まで賑わいを。責を通して人々の交流を深めます。 Dining Spot

生活に密着した店舗。オープンな店先で人々を出迎えます。 Shopping Spot

検討施策【ストリートファニチャー設置プロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前広場・朝霞駅南口駅前通り・駅西口富士見通線・市役所前広場（花の池テラス）・市道1000号線・シンボルロード

①広場や公共空地の活用

各エリアの利用法に合わせたファニチャーやプランターを設置することで、安全な歩行者空間やちょっとした休憩場所（滞留空間）を確保し、エリア全体の豊感性を向上させることで、みちのにぎわいを生み出す。市民参加や、地元企業協賛、アート性の高いファニチャー等や日除けの設置などにより、人々の活動をまちに広げる。

公共空地 大規模な公共空地を軸に、さまざまな形のミニマルな公共空間をつくれます。

公共空地 イベントや集客に合わせた可動式ファニチャーは、朝霞駅南口駅前通りと統一感をもちます。

公共空地 個人や利用するファンチャーを豊富に敷き、またさまざまな中継地点として、賑わいのある空間になります。

朝霞駅南口駅前広場 歩行者の滞留空間を確保するだけでなく、ベンチやプランターを豊富に敷き、またさまざまな中継地点として、賑わいのある空間になります。

朝霞駅南口駅前広場 地元企業協賛のファニチャーやプランターを配置し、活性化につなげます。

朝霞駅南口駅前広場 可動式ファニチャー・可動式プランター（地元企業協賛）

市役所前広場（花の池テラス） 市民参加のプランターや地元企業協賛のプランター・日除けを設置し、賑わいのある空間をつくれます。また、イベント開催時は可動式ファニチャーだけでなく、プランターによる装飾などで賑わいのある広場空間をつくれます。

3可動式プランター（地元企業協賛）**4**可動式プランター（市民参加）**5**ファニチャー+プランター

※写真画像は、ファニチャーの設置イメージであり、実際の設置状況とは異なる場合があります。

検討施策【人中心のみちづくりプロジェクト】

実施エリア：朝霞駅南口駅前通り・駅西口富士見通線

人中心のみちの形成に向け、ワークショップ等を通じた意見交換を行う。

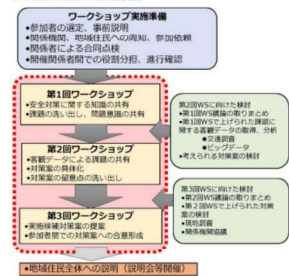
一方通行化等の交通規制により、自転車も自動車も歩行者の速度で走る車道の実現を目指し、市民参加のワークショップや実証実験を行う。



(埼玉大学工学部建築社会デザイン学科交通・計画グループ提供)

朝霞駅南口駅前通り 交通規制の選択検討	メリット	デメリット、留意点
一方通行	<ul style="list-style-type: none"> 車線を削減することで歩行空間を広く確保できる 歩行者の歩行空間を確保できる 通行方向を制限することで交通渋滞を抑制できる 歩行者が歩道を横断する距離が短くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の通行方向が制限される 一方通行化により自転車の速度が増加する可能性がある 通行方向を制限する必要があるため、歩行者の歩行方向の制限が必要 一方通行の両側の歩道幅が必要
双方向	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の利便性が保たれる 歩行空間、滞留空間を増やすことが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の歩行空間が確保されない 歩行者の歩行空間が確保されない（一方通行の場合、歩行者の歩行空間を確保することが難しい） 歩行者の歩行空間が確保されない 歩行者の歩行空間が確保されない
歩行者天国	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の歩行空間が確保される 歩行者の歩行空間が確保される 歩行者の歩行空間が確保される 歩行者の歩行空間が確保される 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の歩行空間が確保されない 歩行者の歩行空間が確保されない 歩行者の歩行空間が確保されない 歩行者の歩行空間が確保されない

ワークショップによる検討



駅西口富士見通線 道路構造の選択検討

メリット	デメリット、留意点
<ul style="list-style-type: none"> イベント時等一体的利用が可能 バリアフリー、移動しやすい 歩行者の通行方向が明確 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点や沿道敷地とのすりつけの検討 自転車の通行方向が不明 歩行者の通行方向が不明

あさかの新しい「みち」づくり会議

歩きやすい駅前通りを 考えるワークショップ

1st
2022/08/26(Fri)
18:00~20:00
朝霞市役所 2F 大会室

2nd
2022/08/27(Sat)
14:00~16:00
朝霞市役所 2F 大会室

※1日限、2日限とも対面と内容が異なります。併せて参加を希望する場合は、お申し込みください。

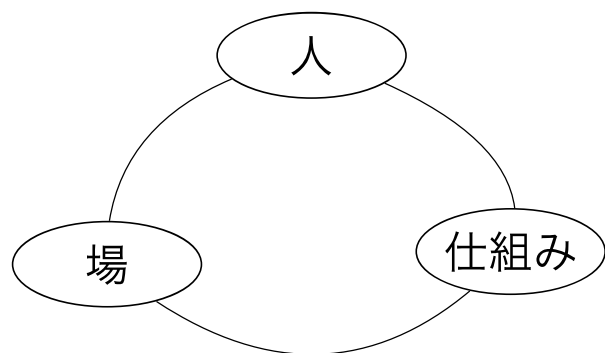
※申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。

※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。

※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。



あさかエリアデザイン会議の特徴とは



3つの大事な要素がうまく揃ったのかなと感じています



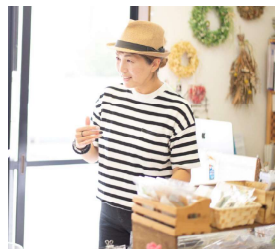
主体性のあるメンバーが官民ともに集まった
少数の中心メンバーの役割が絶妙だった

自分のまちは自分でつくる。主体性のある3名のコアメンバーが集った



会長 山崎幸治

株式会社一進堂を経営。朝霞駅前商店会会長を務め、朝霞周辺の活性化に尽力



副会長 滝澤いと

朝霞市東弁財にてレンタルスペース「コトノハコ」を経営。マルシェやWSを通じ「コト起こし」を支援



副会長 木本孝広

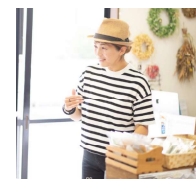
不動産のリノベーション等を手掛ける株式会社ダマヤカンパニーを経営。ASAKA STREET TERRACE実行委員長も務める。



会長 山崎幸治

地域ネットワーク

地元の有識者や団体との調整役



副会長 滝澤いと

クリエイティブ

クリエイティブな発想、クリエイターとのネットワーク



副会長 木本孝広

プロデュース

計画立案、資金調達

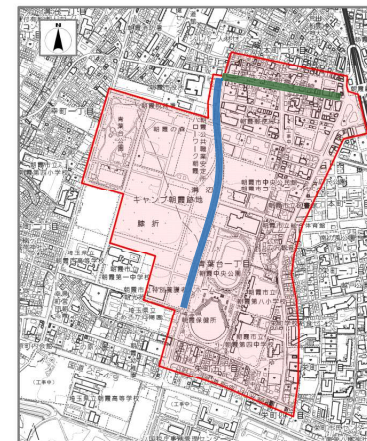
場

ちょうどいいサイズ感のエリアを限定できたこと
私有地と公共空間がバランスよく配置されている



朝霞市 官民連携まちなか再生推進事業

対象エリア



朝霞駅前商店街
私有地

シンボルドーロ
公共空間

総距離1.3km 徒歩17分

20 minute Neighborhood

- ・ 20分生活圏
- ・ 公共空間と民間所有地の混在
- ・ 市民が足を運びやすい立地

仕組み

持続可能な活動にするための収益モデルのスタートラインに
立てている

株式会社エリアデザイン会館の森館直営

food truck
ちいさなテラス

公共空間が日常的に
もいさな催しでにぎわう風景

minimum terrace

ちいさなテラス

あさかの新しい日常のすがたを
少しずつ思い置きながら
一緒に楽しませよう
ちいさな規模でもにぎわいの
日常化を目指し
いるんなもをちよとずつ
いるんなもをちよとずつ

2023.11.19 sun 10:00-16:00 小雨開催 雨天中止
会場：朝霞市シンボルロード 中央広場横の舗装路

当日会える
フードトラックはこちら！

- THE BOUNTY (ハンバーグ)
- AKUA (タコライス)
- こめから (おむすび)
- Chopi Rich (バターチキンカレー)
- 川越ストリート飯倶楽部 (特ガボート)
- サンフース (肉巻きおむすび)
- さかなや (揚げ物)

※雨天中止の場合は、森館直営のフードトラックの出店を予定しております。

※雨天中止の場合は、森館直営のフードトラックの出店を予定しております。

※雨天中止の場合は、森館直営のフードトラックの出店を予定しております。



BEER TERRACE ASAKA

朝霞市シンボルロード 中央広場横の舗装路

FRIDAY NIGHT 17:00 - 21:30

井坂 海音 出演決定!!!

VOL.3 8/25

FOOD/DRINK

朝霞市シンボルロード 中央広場横の舗装路

朝霞市シンボルロード 中央広場横の舗装路

朝霞市シンボルロード 中央広場横の舗装路

